

地方の会報紙より

学童保育所運営

委員長として

久留米市支会 島 博

(福岡県退職小学校長会会報
第90号より)

私は平成十一年に定年を迎え、囑託として市教委や教育研究所で仕事をさせて頂きました。その間、学ぶ楽しさと充実感を求め各種趣味の教室に通っていました。しかし、雑多なことに手を出している自分の生き方に空しさを感じるようになっていました。

丁度その頃、地域から学童保育所の運営委員長をやったほしいという要望がありましたので引き受けることにしました。

私は、学童保育所は託児所のようなものだという先入観を持っていましたが、実際、学童保育所の中に入って一年から三年までの子ども

ちが異学年集団の中で学習、遊び、読書などをしながら生活している様子や親代わりとなって熱心に保育に当たる指導員の姿を見て学童保育所の果たす役割を改めて認識しました。また、市の保育目標・基本方針・年間計画の概要が整備され、それを基に校区の実態に応じて具体的な保育計画を立案し実践することになった。

学童保育所は、市の事業ですが、その運営は久留米市学童保育所の連合会に委託されており、市内の学童保育所の運営委員長で構成される理事会が毎月開催され諸問題の解決に当たっています。また校区には学童保育所の運営委員会があり、大善寺校区では、振興会会長、社協会長、小学校長、PTA会長、自治会長代表、保護者代表等で構成され、定期的に校区の運営委員会を開き、校区民に学童保育所に対する関心を高めるよう

にしています。

日常的には、私は、放課後や休日学童保育所で生活する子どもたちにとって学童保育所が安全で心の居場所となるよう、毎日一度は学童保育所に行つて子どもたちと接したり、指導員と話し合ったり、保育日誌に目を通したりしています。午後六時になると、子どもを迎えにくる保護者から子どものことで相談を受けることもあります。また楽しいのは、子どもと遊んだり、一緒におやつを食べたりできることです。私も時には手品をしてみせたり、お話をしたりしています。私は運営委員長として五年を迎えています。



が、大善寺校区は年々児童数が増加し学童保育所に対する保護者の期待も大きいものがあります。昨年は市に要望し新しい学童保育所を建築していただき、二グループに分けて保育できるようにしました。学校と同じように、入所式の儀式、保護者会、各種の行事や体験活動があり、教職経験を生かす場もたくさんあります。少子化の中、本校区は児童数が増加しているなど個性を持った児童に対応していかなばなりませんので、今後は学校との連携を強化していきたいと思っています。

木工芸に取り組んで

合志市菊池 田中 芳行

(熊本県会報第150号より)

今年四月陶磁器展を見るため伝統工芸館に出かけました。一通り見た後、他の展示室ものぞいてみると、ある木工芸サークルの発表会をやっている

ました。そこには文箱、硯箱、短冊箱、茶道具箱、銘々皿等が展示されていて、どの作品も見事な出来映えでした。これぞ日本の伝統工芸品と言えるものばかりで、作りの正確さ、形の美しさ、木目の美しさ、漆の美しさ等々に私は魅了されました。さらに驚いたことに、これらの作者は皆アマチュアで、趣味で作っているということでした。

私は退職して五年が過ぎました。もともと大工仕事が好きだったので、何を制作するという目的は決めないうまま、まず作業場（工房）作りから始めて、一年かけて独力で六坪の家を完成させました。しかし、せっかくなので作った工房で何を制作するかについては決めかねていました。木のおもちゃ作りをしようか、椅子等の家具を作ろうか、それとも流木を使った工芸作品作りをしようか迷っていました。

このたび、伝統工芸作品を

見て、即私も作りたいと思いました。私の進むべき道が決まったのです。幸い生徒募集をしていたので、すぐ申し込みました。新人は私一人だけでした。

木工芸教室（月二回、九時から十六時）に入學して四ヵ月。木工芸の緻密さ、難しさ、奥深さ、そして楽しさを毎回味わっています。これまで自分が経験してきた木工や大工仕事の知識や技術が全く通用しないことに驚きました。二つだけ紹介しましょう。

まず鉋や鑿等の道具の調整がものすごく難しくかつ大事ということがわかりました。木を加工するのも〇・一ミリ、〇・二ミリの世界です。自分の持っている道具が全く使い物にならないのです。鉋や鑿の刃を何十時間研いだことでしょう。やっと最近、大体研げるようになりました。光る刃先を見てにんまりしています。おかげで我が家の包丁

は抜群の切れ味で、家内が喜んで使っています。また精密に研ぐためには砥石が大事です。常に平らでなくてはなりません。刃を一回研いだら、必ず砥石を平らに研ぎ直さなければならぬのです。もちろん荒砥石、中砥石、仕上げ砥石が最低必要です。鉋は刃だけでなく台も重要です。台は単に平らと言うだけではだめで、微妙な調整を加えなければ使えないのです。

次は、使う木の種類です。クワ、タモ、ケヤキ、黒檀、タガヤサン等がいいそうです。これらの木は硬木で、美しい木目を持っています。これらは順目逆目が入り組んでいるからだそうです。クワの木を削ってみる言われまじた。全然削れません。大工仕事でこれまで使っていた鉋では木が硬くて通用しないのです。先に述べた調整した鉋が必要。やっと何とか削って難しさを実感しました。そ

の後、杉や檜を削ると面白いほど簡単に気持ち良く削れます。

また木工の技術に関しても私の知らないことが山ほどあることも具体的に分かりました。その他に接着の仕方、漆の使い方、塗り方、銀象眼の方法等学ぶことがたくさんあります。これらを一つ一つ習得してはじめて作品を作ることができそうです。毎回未知との遭遇で非常に楽しいです。形になった物を来年までに一つは作りたいと思っています。目標を持つことの楽しさ、学ぶことの楽しさを満喫している今日この頃です。



全連退会員の バッジの着用を

全連退会員として、バッジを着用して、会員としての自覚と、つながりを求めましょう。
送料を含めて、一個一、二〇〇円です。

なお、三十個以上まとめますと、一個一、〇〇〇円となります。

（全連退事務局）